

世界初 (※) の方法論策定 自動車リサイクル部品の活用による CO2 削減効果をカーボンクレジット化へ
～自動車リサイクル部品活用による新方法論で、自動車産業の脱炭素と循環経済を加速～



NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合（本部：東京都港区、理事長：小林 信夫）の関連会社、株式会社 NGP 本社：東京都港区、代表取締役：佐藤幸雄、以下「NGP」）は、株式会社 Linkhola（本社：東京都港区、代表取締役：野村恭子、以下「Linkhola」）が運営する民間主導の「EARTHSTORY ボランティアクレジット制度」において、新たな方法論「自動車パーツリサイクル」を策定しました。

本方法論は、NGP の産学共同研究データに基づき、これまで定量化が難しかった自動車部品の再利用（リユース）による「新品製造の回避に伴う CO2 削減効果」を可視化します。更に、外部専門家の客観的なレビューと、制度運営委員会の厳格な承認を経て、世界で初めて自動車部品リユースによる環境価値をクレジット化し、市場取引を可能にしました。サプライチェーン全体での脱炭素（Scope 3 削減）を推進する企業にとって、信頼性の高い新たな削減手段となります。自動車産業全体の脱炭素経営と、サーキュラーエコノミー（循環型経済）の発展に貢献します。

※自動車リサイクルにおける「部品リユース」を対象としたボランティアカーボンクレジット方法論の正式策定として世界初（Linkhola 調べ、2026 年 5 月時点）

■本方法論策定の背景と目的

世界的な脱炭素化の流れを受け、企業にはサプライチェーン全体の CO2 削減が求められています。新品部品の製造には資源採掘、素材製造、加工、輸送など多くのエネルギーが必要です。一方、使用済み自動車から回収した部品を品質確認・美化したうえで再利用するリサイクルパーツは、新たな資源採掘や製造工程を大幅に削減できるため、環境負荷を低減できます。

NGP は全国の自動車リサイクル事業者で構成される組織として、リサイクルパーツの普及と品質確保に長年取

り組んできました。2013年に富山県立大学・明治大学との産学共同研究を開始し、LCA（ライフサイクルアセスメント）に基づく算定手法を確立。現在では90部品（左右区別等を含め115部品）について独自のCO2削減量算定が可能となっています。しかしこれまで、こうした削減効果を信頼性の高いカーボンクレジットとして評価・流通させるための方法論は、国内外に存在していませんでした。



そこで、独立した制度オーナーである「EARTHSTORY (Linkhola)」は、NGPの実証データ提供を受け、大学等との産学共同研究データ・運用実績を参考にし、第三者審査に耐えうる客観的な算定ロジックを設計。本方法論の開発・策定にいたりました。ルール策定者（制度オーナー）とプロジェクト実施者（NGP等）の独立性を明確に維持し、国際的なクレジットの基準に準拠した方法論・制度ガバナンスを確立しています。

■新方法論「自動車パーツリサイクル」の概要

本方法論は、使用済み自動車から適切に回収・品質管理され、再び市場に供給された自動車パーツ（外装・機能部品等）の再利用を対象とします。

- 対象活動：国内の使用済み自動車から適切に回収された自動車パーツ（リユース部品）の再利用。
- 算定方法：対象パーツを「新品で製造・流通させた場合（ベースライン）」と、「リユース部品として美化・点検・流通させた場合」のCO2排出量の差分を「削減量」として定量化。
- 信頼性の確保：EARTHSTORY ボランタリークレジット制度のもと、デジタル技術でデータの透明性・トレーサビリティを確保。独立した第三者審査機関による厳格な検証により、二重計上を防止。

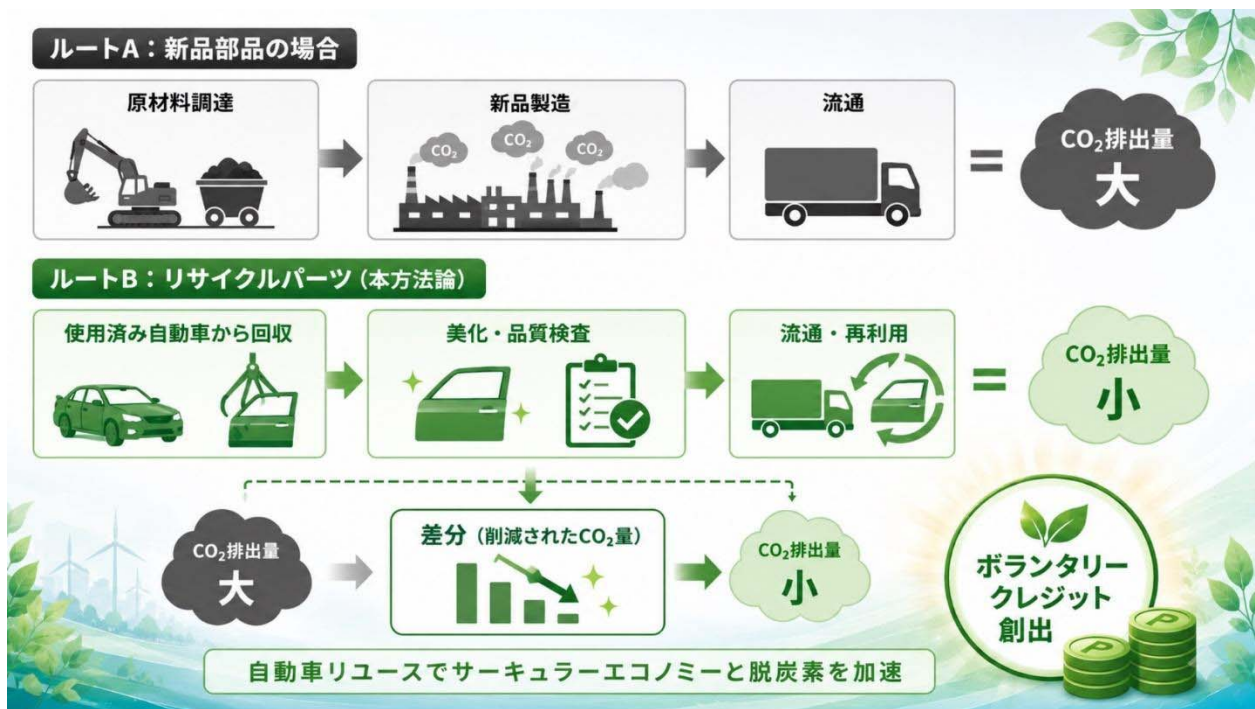
■本方法論がもたらす2つの革新ポイント

1. 「部品」の再利用（リユース）を直接評価：

破碎や製錬を伴う「素材リサイクル」とは異なり、形状・機能を保ったまま再利用する「部品リユース」そのものを評価します。新品の製造を代替するため、製造時の膨大なエネルギー消費とCO2排出を直接、大幅に回避します。

2. 自動車産業全体のScope 3対策ニーズと自動車リサイクル産業の持続的発展：

創出された高品質なクレジットは、サプライチェーンでの排出削減を推進したい自動車産業関連会社が購入・活用します。その収益が自動車リサイクル事業者に還元されることで、リサイクル部品の更なる品質向上・流通拡大につながり、業界全体の持続的発展を後押しします。



■ NGP のCO₂削減量を独自算定している部品について

本方法論の開発には、NGPによる長年の学術的取組みがベースとなっています。LCA (ライフサイクルアセスメント) の評価手法を用い、「新品部品の製造プロセス」と「リユース部品の商品化 (取外し・点検・美化) プロセス」のCO₂排出量を評価。高精度な独自の算定評価方法をシステムとして確立しています。外装・ボディー系、ライト・ミラー系、機能・駆動・足回り系、電装・エアコン系など、多岐にわたるカバー率が本方法論の実効性を支えています。



■ 今後の展望

NGP と Linkhola は、2025 年冬頃から本方法論の策定検討を開始し、外部の環境専門家による客観的レビューと、EARTHSTORY 制度運営委員会の厳正な審査を経て、2026 年 5 月 27 日に正式策定にいたりました。今後、NGP は 90 部品のうち一部の部品を対象に、本方法論に基づいた「第 1 号クレジット創出プロジェクト」の申請および登録プロセスを始動します。自動車パーツリユースを対象とした世界初のクレジットとして、2026 年秋頃の発行を目指します。

また、NGP は組合全体の取組として、2030 年までに、処理台数 1,000 万台、リユース等 2,000 万点、CO₂削減量 50 万 t-CO₂ の達成を目指しており、本方法論はその実現に向けた重要な基盤となります。

創出されたクレジットは、サプライチェーン全体での脱炭素に取り組む企業による活用が期待されます。Linkhola および NGP は、本方法論の普及を通じて、自動車産業におけるサーキュラーエコノミーの推進と脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

■ 各社コメント



株式会社 NGP 代表取締役 佐藤幸雄 氏

当社はこれまで「自動車リサイクルを通じて地球環境に貢献する」という理念のもと、リサイクルパーツの普及に努めてまいりました。今回、NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合および当社が長年積み上げてきたリサイクルパーツの流通実績や、大学等との共同研究による CO2 削減効果の算定データをもとに、Linkhola 様が運営する EARTHSTORY 制度において、新方法論「自動車パーツリサイクル」が策定されたことを大変嬉しく思います。これにより、リサイクルパーツの活用による環境貢献を、客観的な CO2 削減量として可視化し、ボランティアクレジットという新たな環境価値として評価する道筋が開かれました。今後も全国の会員企業とともに、リサイクルパーツのさらなる普及を進め、自動車産業におけるサーキュラーエコノミーの推進とカーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。



NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合 理事長 小林信夫 氏

NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合は、全国の組合員とともに、使用済み自動車の適正処理とリサイクルパーツの生産・流通に取り組んでまいりました。自動車リサイクル部品の活用は、限りある資源を有効に使うだけでなく、新品部品の製造を回避することによる CO2 削減にもつながる重要な取り組みです。今回、自動車リサイクル部品の CO2 削減効果をボランティアクレジットとして評価する方法論が策定されたことは、私たち自動車リサイクル事業者の取り組みが、社会的・環境的な価値としてより明確に認められる大きな一歩であると考えています。今後も組合員一丸となって、適正処理、リサイクルパーツの品質向上、流通拡大に努め、持続可能なモビリティ社会の実現に貢献してまいります。



株式会社 Linkhola 代表取締役 野村恭子 氏（環境学博士）

「日本における自動車リサイクルと脱炭素の可視化の先駆者である NGP 様から高度な実証データの提供を受け、中立なクレジット制度運営主体として、世界初の画期的な方法論『自動車パーツリサイクル』を策定できたことを誇りに思います。大量生産・大量消費による CO2 排出時代、AI・自動化の時代において、日本の『もったいない精神』と『手工業職人の技術』は単なる節約ではなく再定義、注目に値します。修理して使い続ける文化・価値観、技術の継承、サーキュラーエコノミーの文脈において、部品の再利用は『優先されるべき脱炭素アプローチ』の一つです。本方法論を通じて、客観的かつ適切に環境価値を評価し、ボランタリークレジット市場を通じて自動車リサイクル産業の活動を強力に支援してまいります。」

■ EARTHSTORY ボランタリークレジット制度について

Linkhola は、民間主導の「ボランタリークレジット制度」の制度オーナーとして、申請・審査・発行までをワンストップで提供する独立したプラットフォーム「EARTHSTORY」を運営しています。最大の強みは、デジタル技術をベースとした自動化と最適化された制度設計により、最短 3 か月という国内最速クラスで高品質なカーボンクレジットを発行・流通できるガバナンスシステムです。既存の J-クレジットや海外ボランタリークレジット制度等でカバーされていない革新的な温室効果ガス削減・吸収アプローチに対し、客観的なデータ提供に基づき新方法論を迅速に構築。国内外の多様なプレイヤーに対して、ボランタリークレジットの創出・販売を通じた環境価値のマネタイズおよび ESG ビジネスの成長を支援しています。

※1：2023年10月自社調べ（日本国内におけるワンストップ「ボランタリークレジット創出支援サービス」として）

EARTHSTORY

■ 組織概要

【株式会社 NGP】

代表者：代表取締役 佐藤幸雄

所在地：〒108-0075 東京都港区港南 2-12-32 サウスポート品川 4F

設立：1990年11月

事業内容:NGP システムの運営管理、損害保険会社およびリース会社使用済み自動車引取窓口業務、ISO14001
コンサルティング、その他サポート

URL：<https://www.ngp.gr.jp/>

【株式会社 Linkhola】

代表者：代表取締役 野村 恭子（環境学博士）

所在地：〒105-0013 東京都港区浜松町2-2-15 浜松町ダイヤビル2F

設立：2020年1月

事業内容：ボランティアカーボンクレジット創出・流通プラットフォーム「EARTHSTORY」の運営、脱炭素
経営支援ソリューションの提供

URL：<https://www.linkhola.com>

以上

～ 詳細については NGPサステナブル総務広報委員会 担当 まで ～

NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合

URL <https://www.ngp.gr.jp/>

NGP協同組合事務局 〒108-0075 東京都港区港南2-12-32 サウスポート品川4F

TEL 03-6705-1208 FAX 03-6705-1209

株式会社NGP

〒108-0075 東京都港区港南2-12-32 サウスポート品川4F

TEL 03-6705-1212 FAX 03-6705-1201